

調査報告

学修時間、学修行動の把握 に関する調査報告 (H29年度版)

新潟工業短期大学

IR室 齋藤 公世

調査報告

学修時間調査のためのアンケート（H29年度実施）

本報告は、H29年度前期終了後（1年生は入学後半年経過時点）において、行ったアンケート結果をまとめたものである

回答者

学年	人数
1学年	72人
2学年	69人

調査報告

学修時間調査のための質問事項

アンケートでは学修時間以外の、生活時間、アルバイト時間等の時間についても調査を行っている

問	質問項目
1	睡眠時間
2	食事時間
3	通学時間
4	予習・復習時間
5	クラブ活動、趣味等の時間
6	アルバイト時間
7	生活時間(掃除、洗濯、etc)
8	その他の時間(ゲーム、TV、etc)

調査報告

学修時間調査のための質問事項

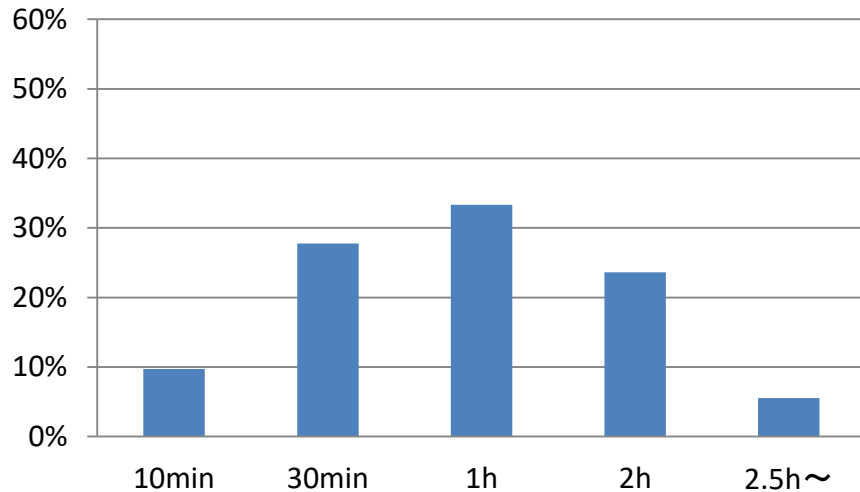
アンケートでは時間の使い方だけではなく、予習、復習の内容や、オフィスアワーの利用回数についても調査を行っている

問	質問項目
1	予習のレベル
2	復習のレベル
3	オフィスアワーの利用回数

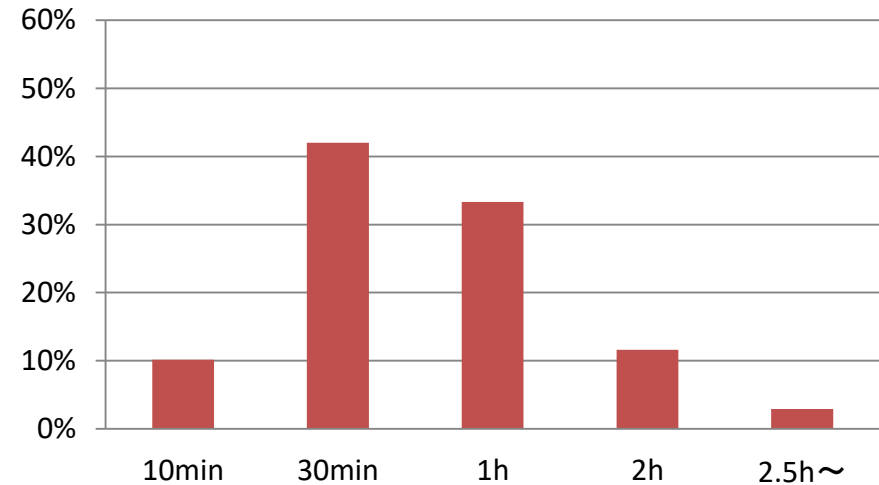
調査報告

予習・復習に費やす時間

予習・復習時間(1年)



予習・復習時間(2年)

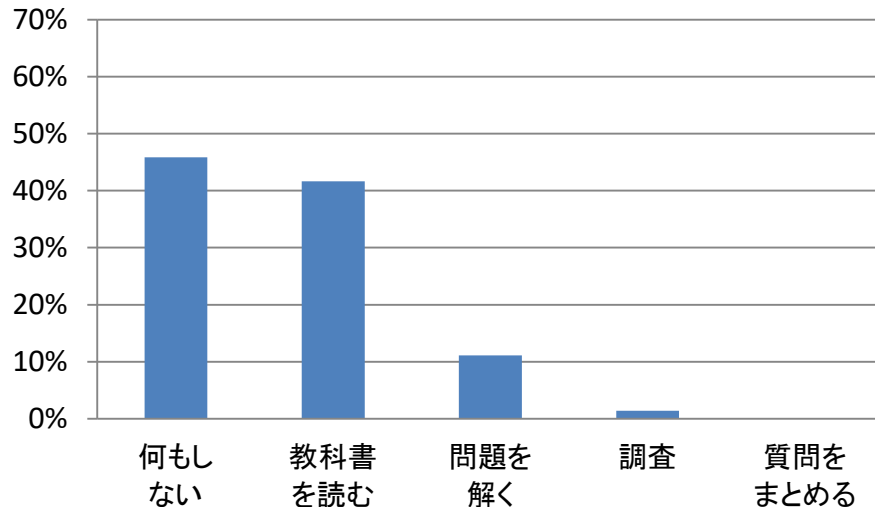


- 学修時間が30分以上の学生は約90% 1時間以上の学生は約55%
- 学修時間の分布は、1年生はほぼ正規分布、2年生は歪度が+の傾向を示す
(1年生の方が学修時間が若干多い)
- 目標4時間(1科目当たり)には遠く及ばないが、多少の努力は認められる

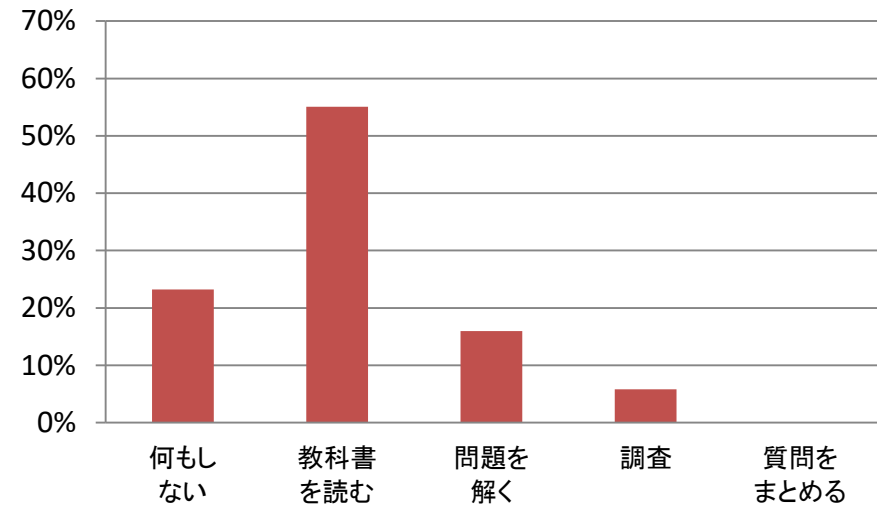
調査報告

予習のレベルについて

予習のレベル(1年)



予習のレベル(2年)

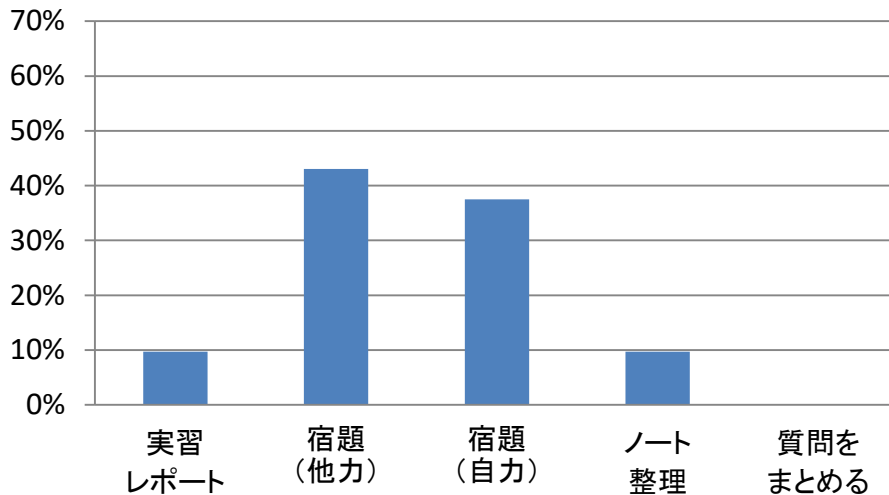


- 1年生では約45%の学生が、何もしないと回答しているが、2年生では20%強に半減している
- 2年生は、実際の学修時間は取れていないが、教科書くらい読まねばとの意識は生まれていると考えられる

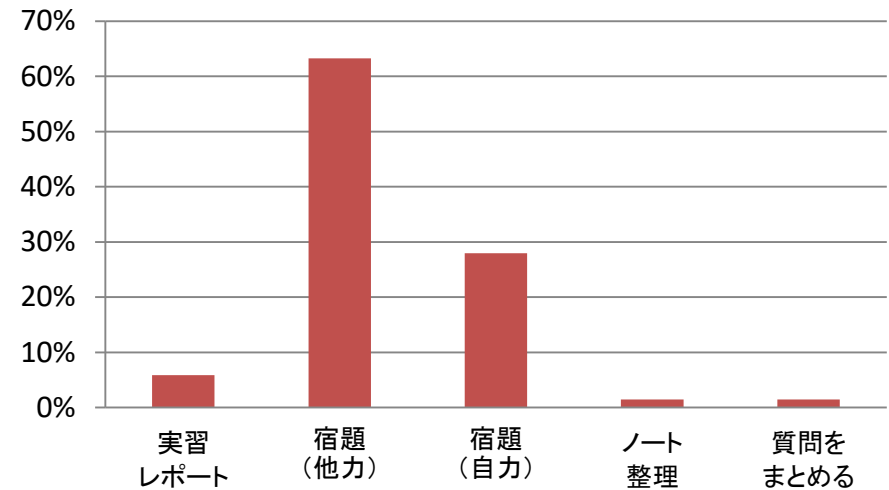
調査報告

復習のレベルについて

復習のレベル(1年)



復習のレベル(2年)

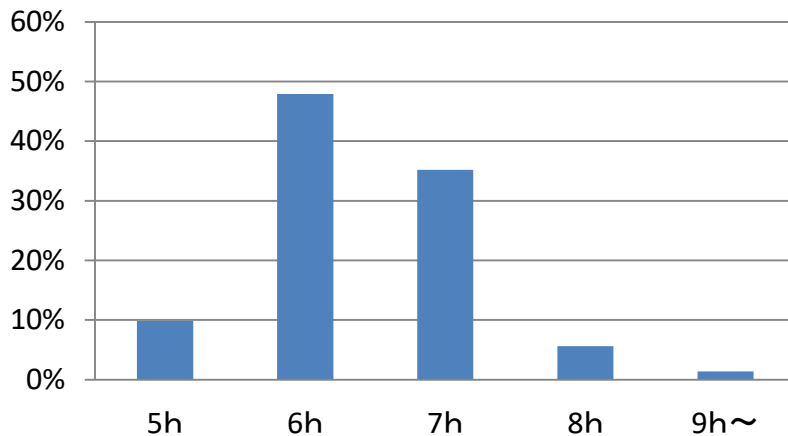


- 復習のレベルは、大半が実習レポート作成と宿題であり、学生の自己学修レベルを上げるには学生に与える課題次第であるとも考えられる
- 今後は開講科目全体で全体量を調整しながら、課題（宿題）を出すようなコントロールが必要であると考えられる

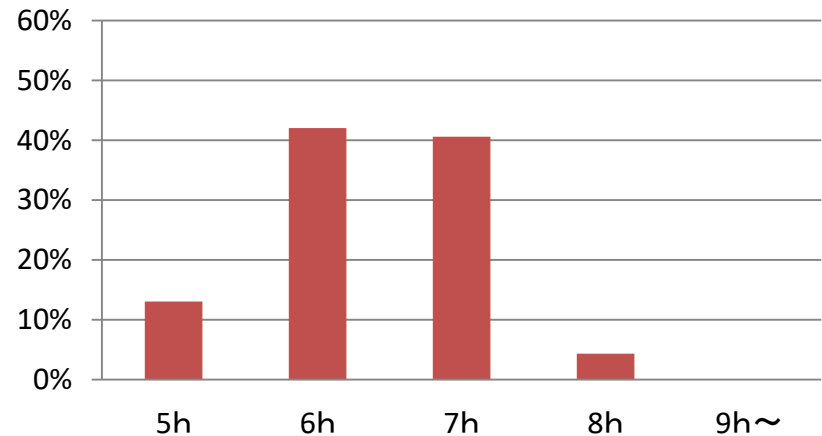
調査報告

睡眠時間

睡眠時間(1年)



睡眠時間(2年)

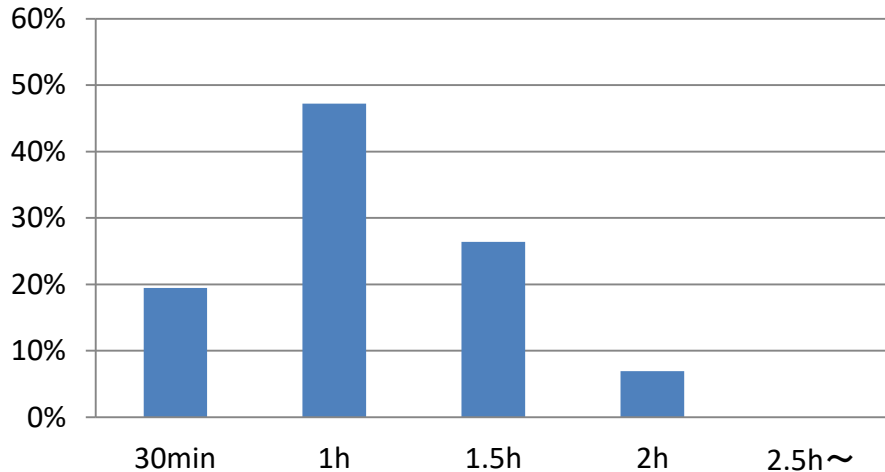


- 約90%の学生が、6時間以上の睡眠を確保しており、ほぼ健全である
- 約10%の学生が睡眠時間5時間程度であり、授業中の居眠りにつながる可能性がある

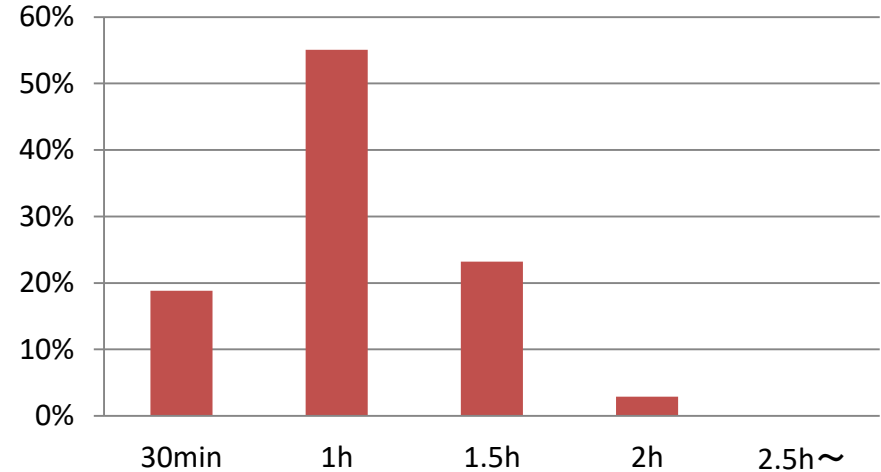
調査報告

食事時間（朝、昼、晩 三食分）

食事時間(1年)



食事時間(2年)

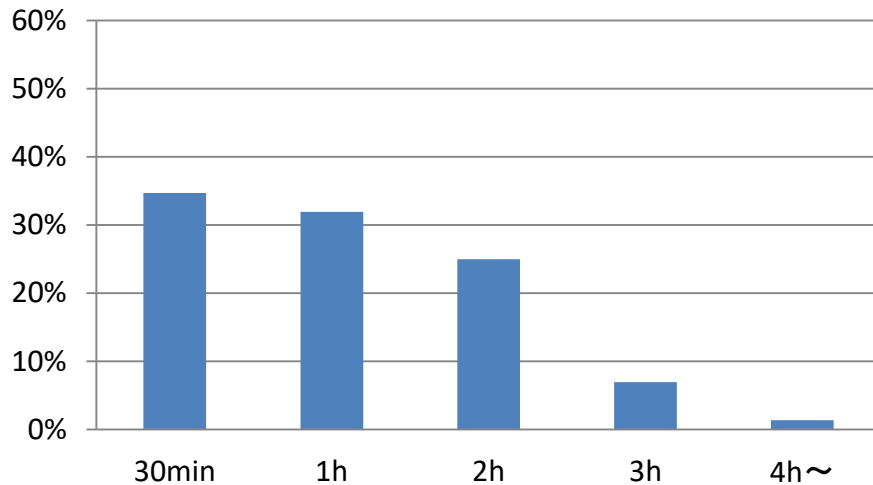


○約80%の学生が、1時間以上の食事時間を確保している
1食あたり20分以上で、時間的にはほぼ健全な食生活である

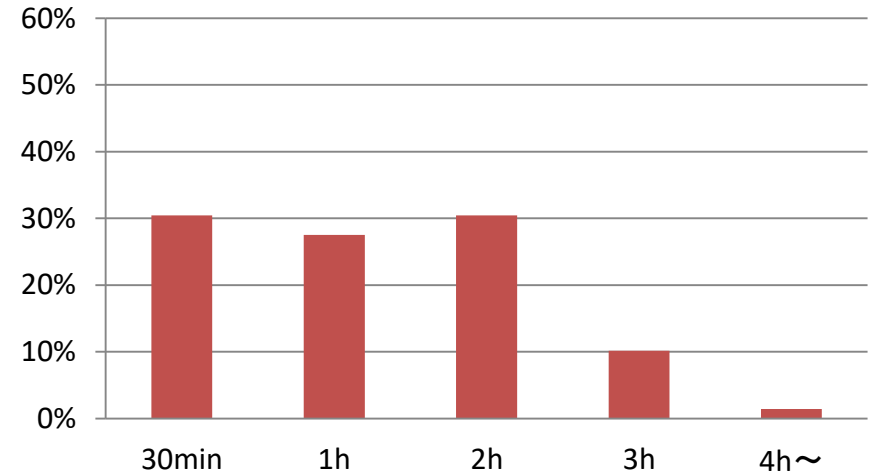
調査報告

通学時間（往復）

通学時間（1年）



通学時間（2年）

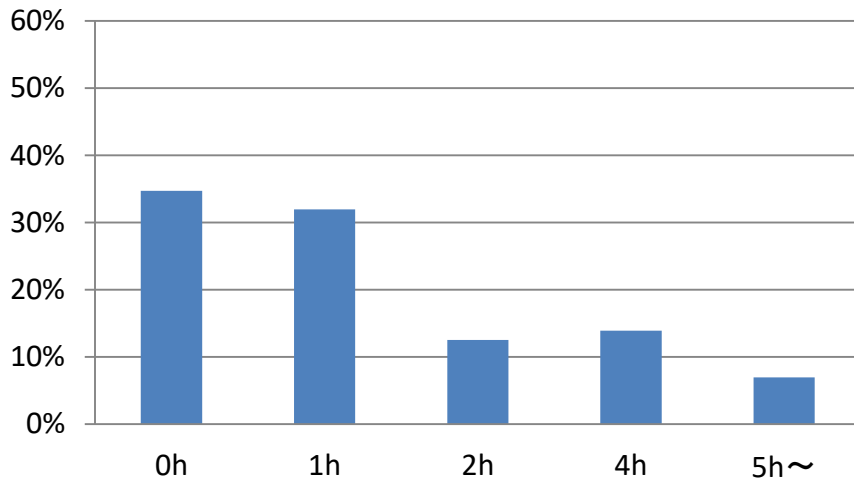


○約90%の学生が、往復2時間以内で通学している

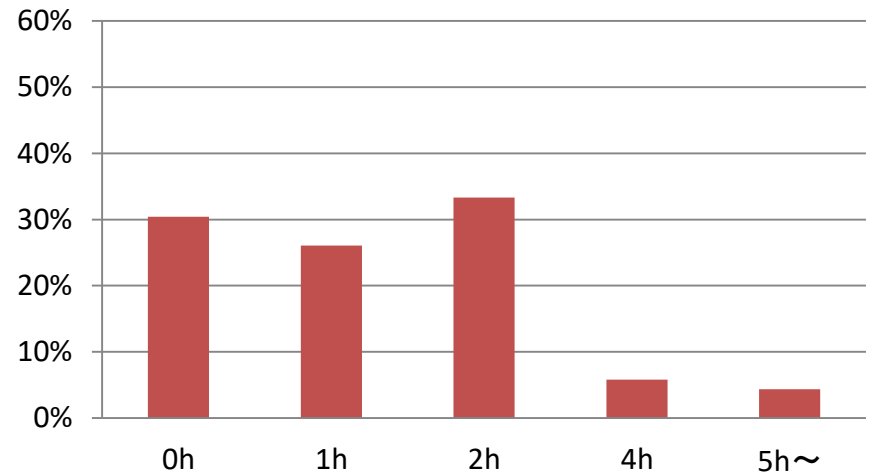
調査報告

クラブ活動時間、趣味に費やす時間

趣味・クラブ活動時間(1年)



趣味・クラブ活動時間(2年)

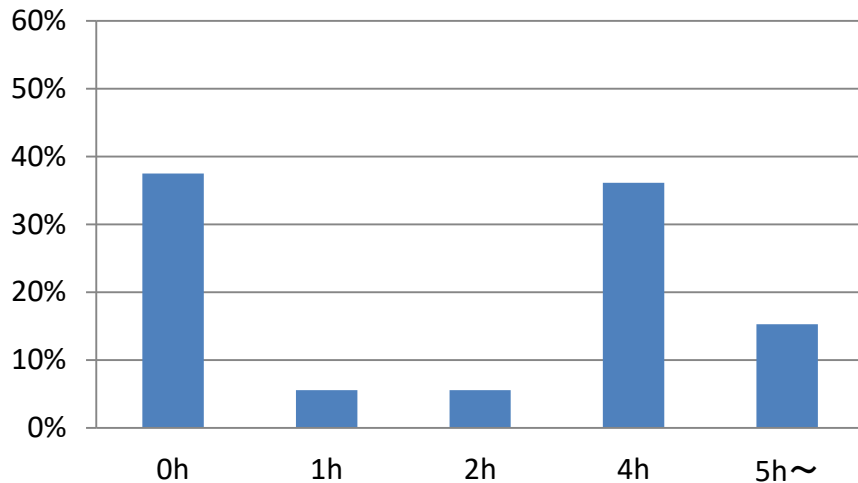


- 約70%の学生が、趣味やクラブ活動で時間を過ごしている
- 約30%の学生が、趣味を持たず、クラブ活動もやっていない

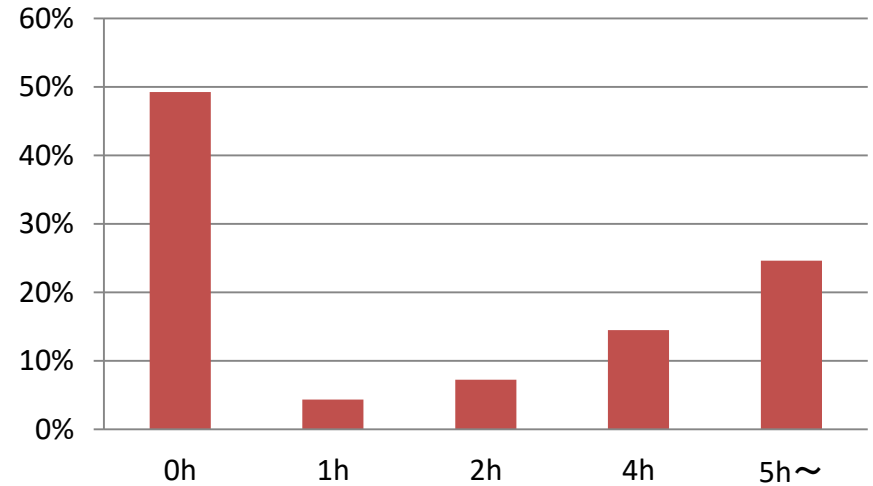
調査報告

アルバイト時間

アルバイト時間(1年)



アルバイト時間(2年)



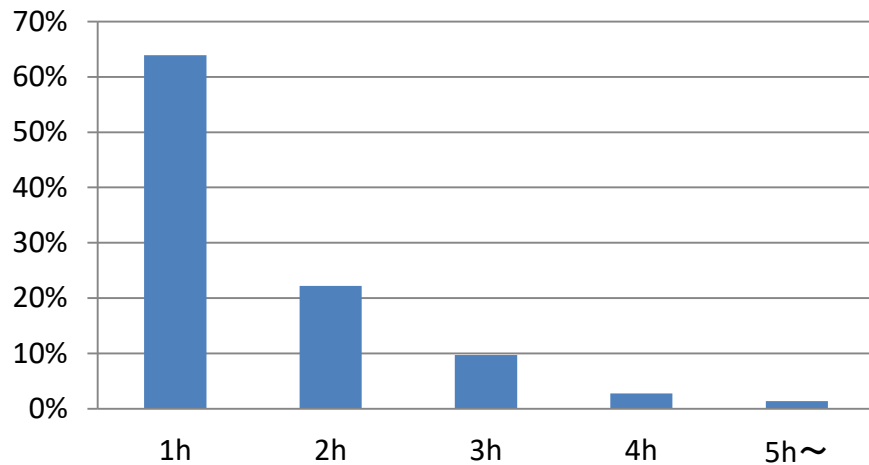
○1年生では約60%、2年生では約50%の学生が、アルバイトをやっている

○アルバイトをやっている学生は、大半が4時間以上であり、厳しい一面が見られる

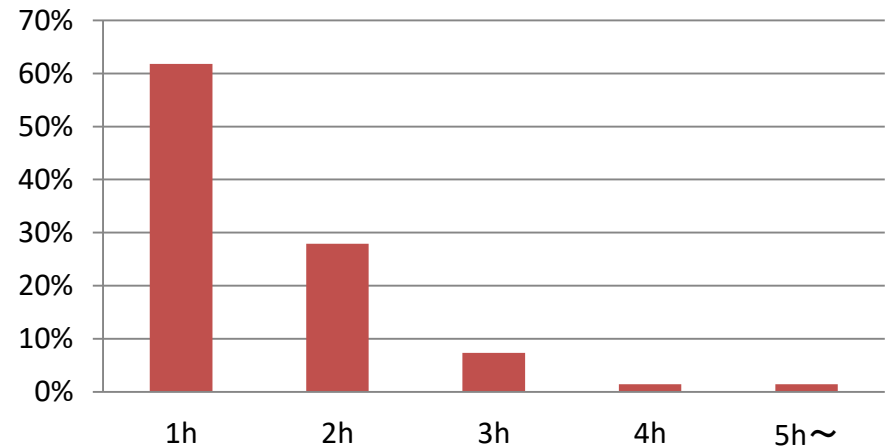
調査報告

生活時間（掃除、洗濯、買い物、etc）

生活時間(1年)



生活時間(2年)

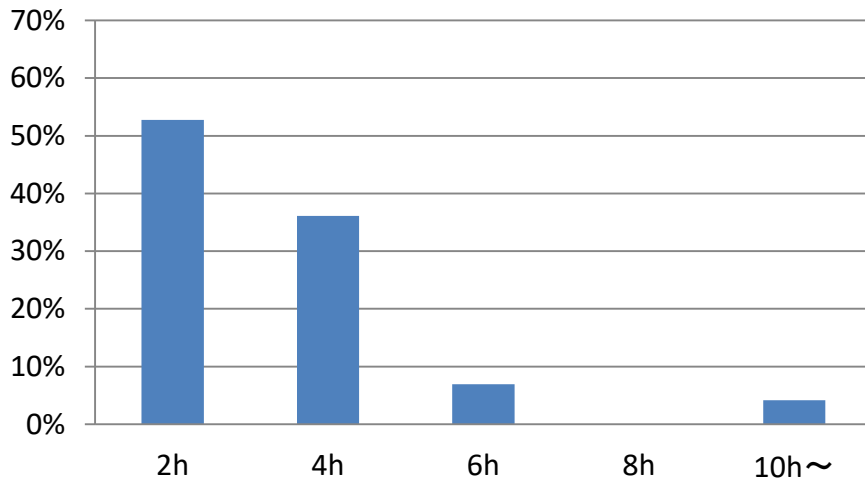


○約90%の学生が、家事を2時間以内に済ませている

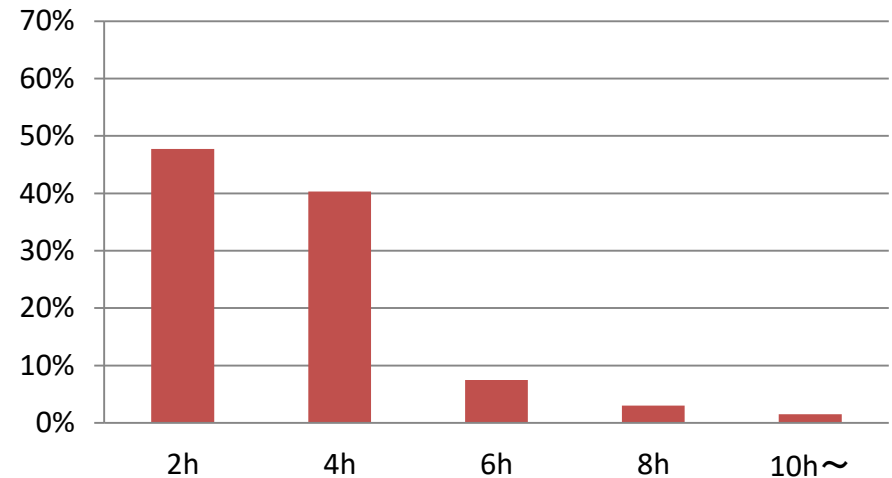
調査報告

その他の時間（ゲーム、TV、etc）

その他・遊び時間（1年）



その他・遊び時間（2年）



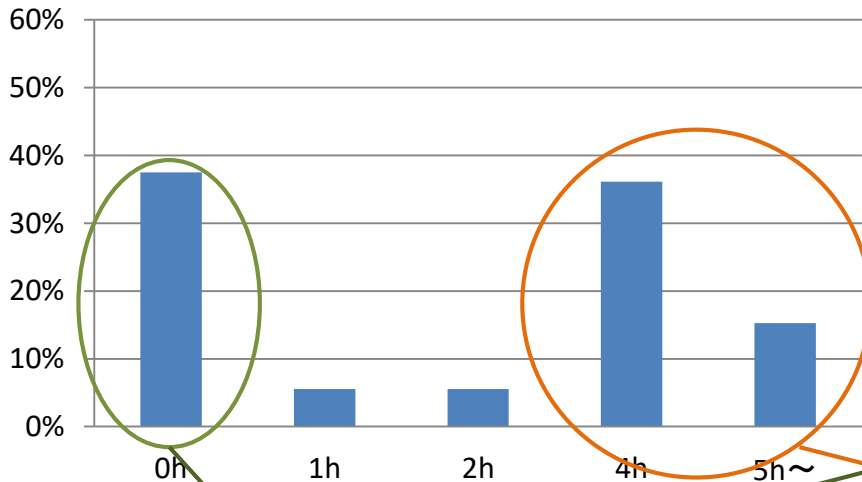
○約90%の学生が、家事を短く済ませ、遊びの時間は家事の倍の時間を確保している

調査報告

学修時間とアルバイトの関係

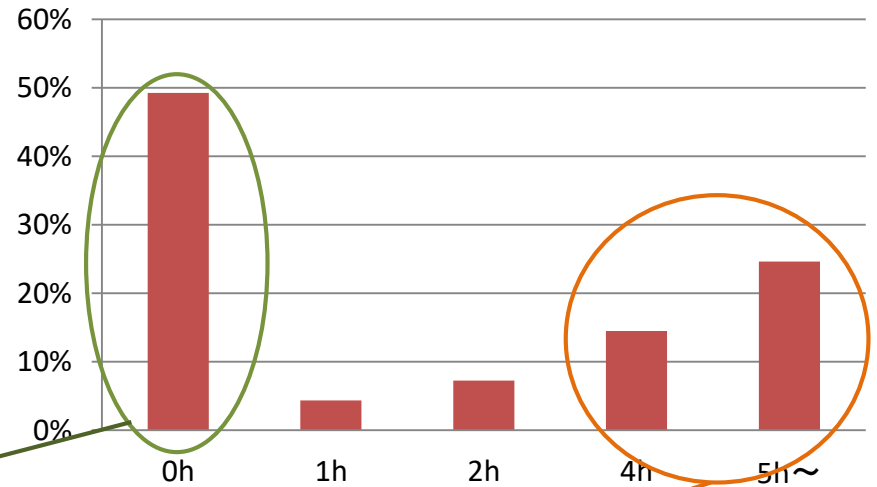
学修時間とアルバイトの関係を調べるため、アルバイトをしていない学生とアルバイトを行っている学生の2つの群に分けて、学修時間を見る

アルバイト時間(1年)



アルバイト無の群

アルバイト時間(2年)

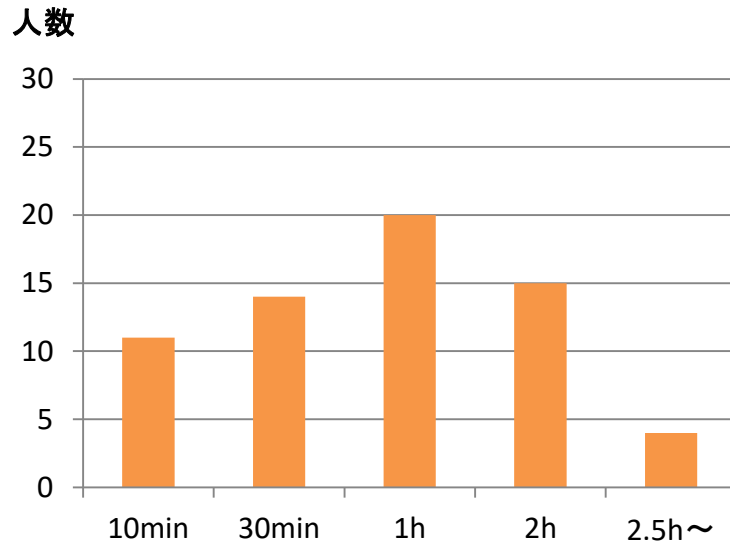


アルバイト有の群

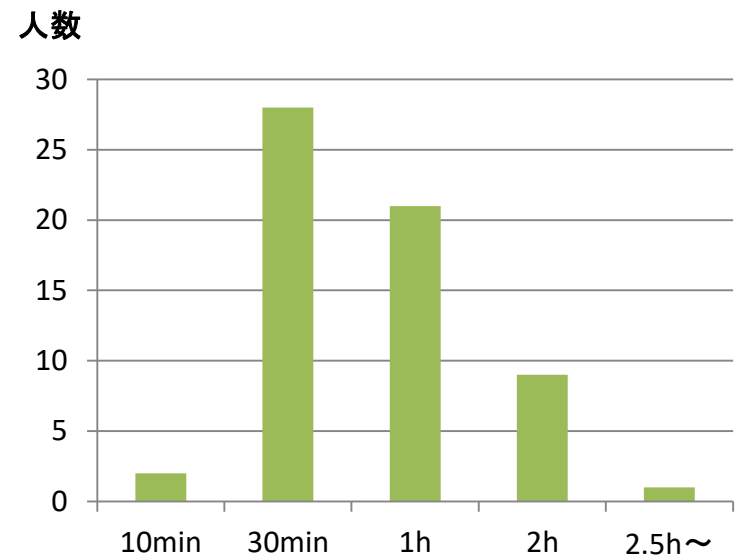
調査報告

学修時間とアルバイトとの関係

学修時間分布(バイト有)



学修時間分布(バイト無)

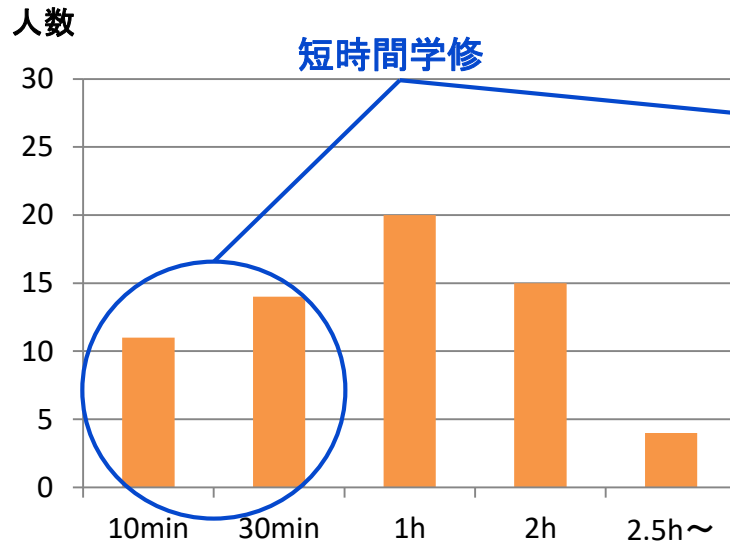


○学修時間が10分程度の学生は、アルバイトをしている学生群に多い

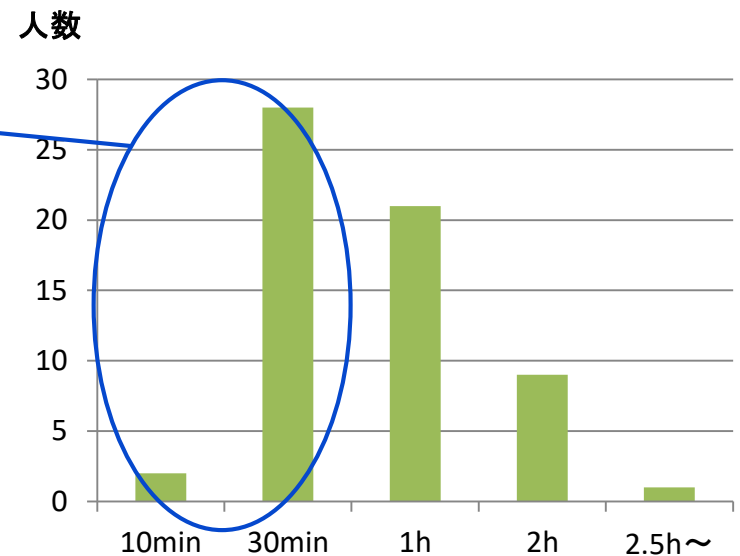
調査報告

学修時間とアルバイトとの関係

学修時間分布(バイト有)



学修時間分布(バイト無)

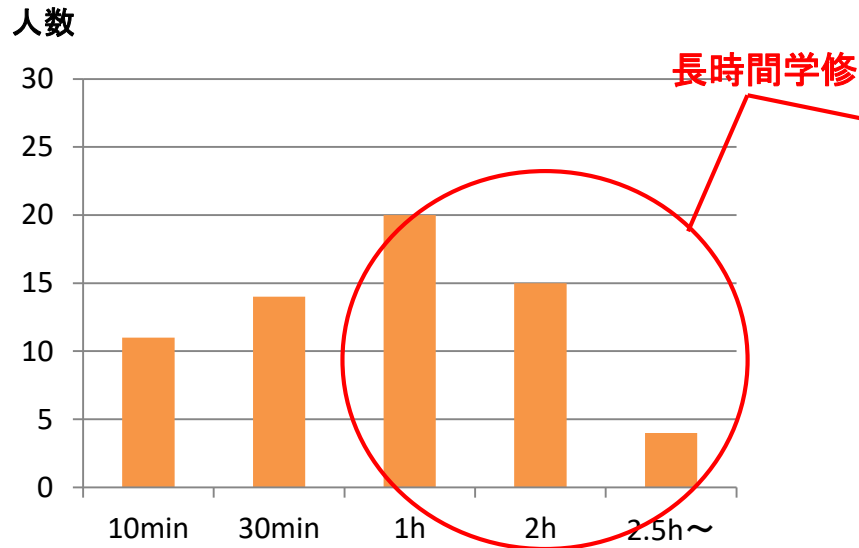


○学修時間が10～30分と、短時間の学修しかしていない領域で両群を比較すると、アルバイトをしていない学生の方が学修時間が長い

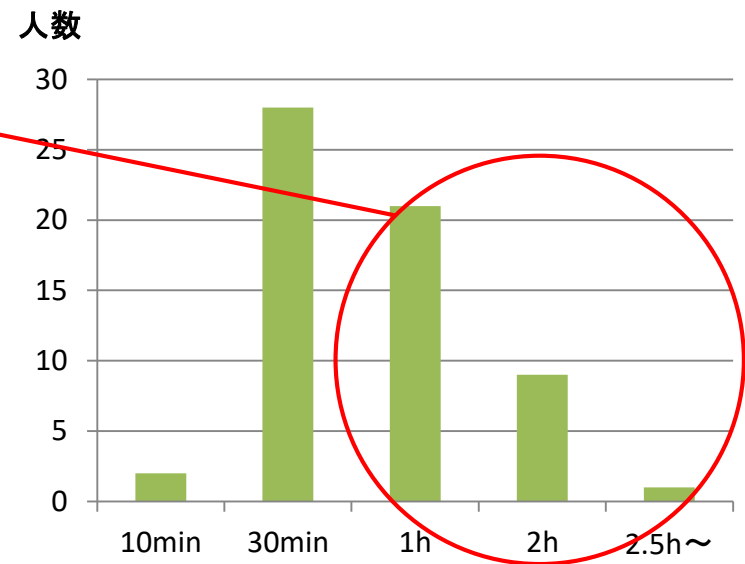
調査報告

学修時間とアルバイトとの関係

学修時間分布(バイト有)



学修時間分布(バイト無)

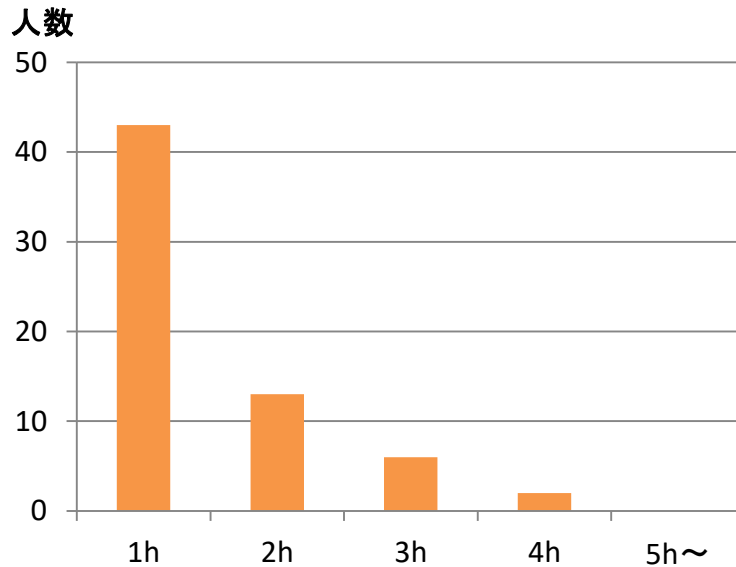


○学修時間が1時間以上と、長時間学修をする領域で両群を比較するとアルバイトをやっている学生の方が学修時間が長い

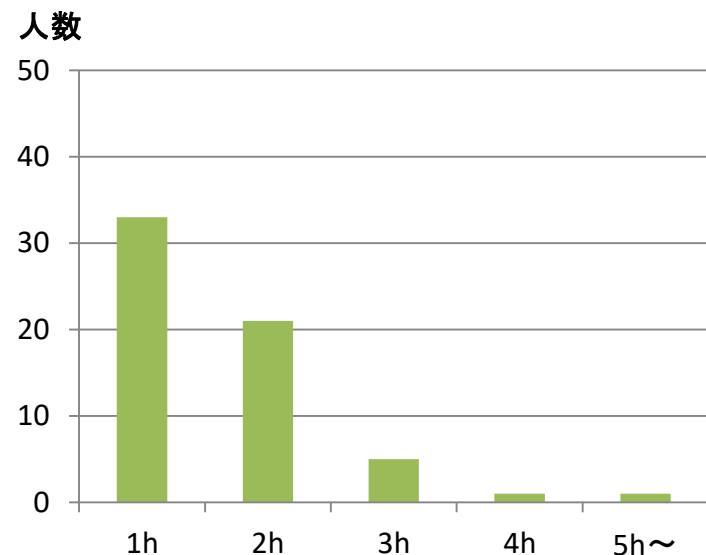
調査報告

生活時間とアルバイトとの関係

生活時間分布(バイト有)



生活時間分布(バイト無)

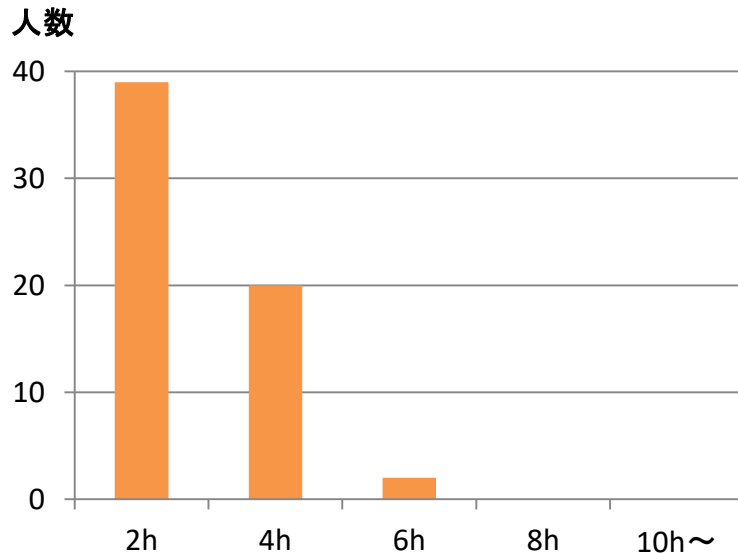


○アルバイトをしている学生は、掃除、洗濯、買い物などの生活時間が、していない学生に比べ少なくなっている
生活時間を削って、アルバイトをやっていると想像される

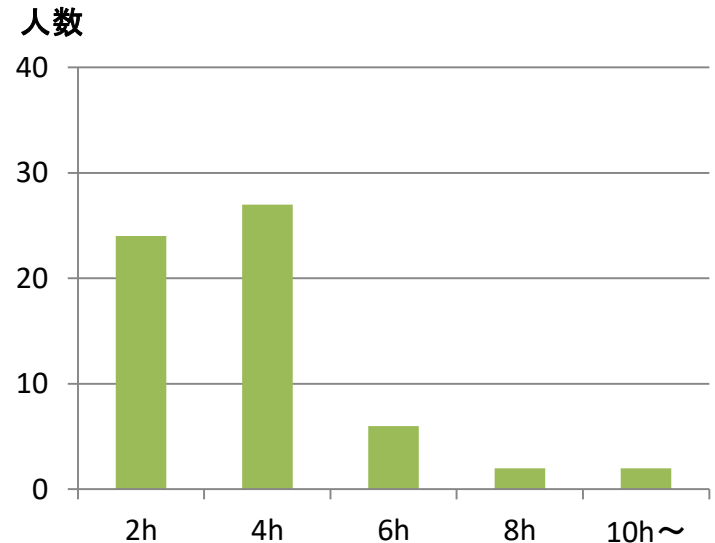
調査報告

遊び時間とアルバイトとの関係

遊び時間の分布(バイト有)



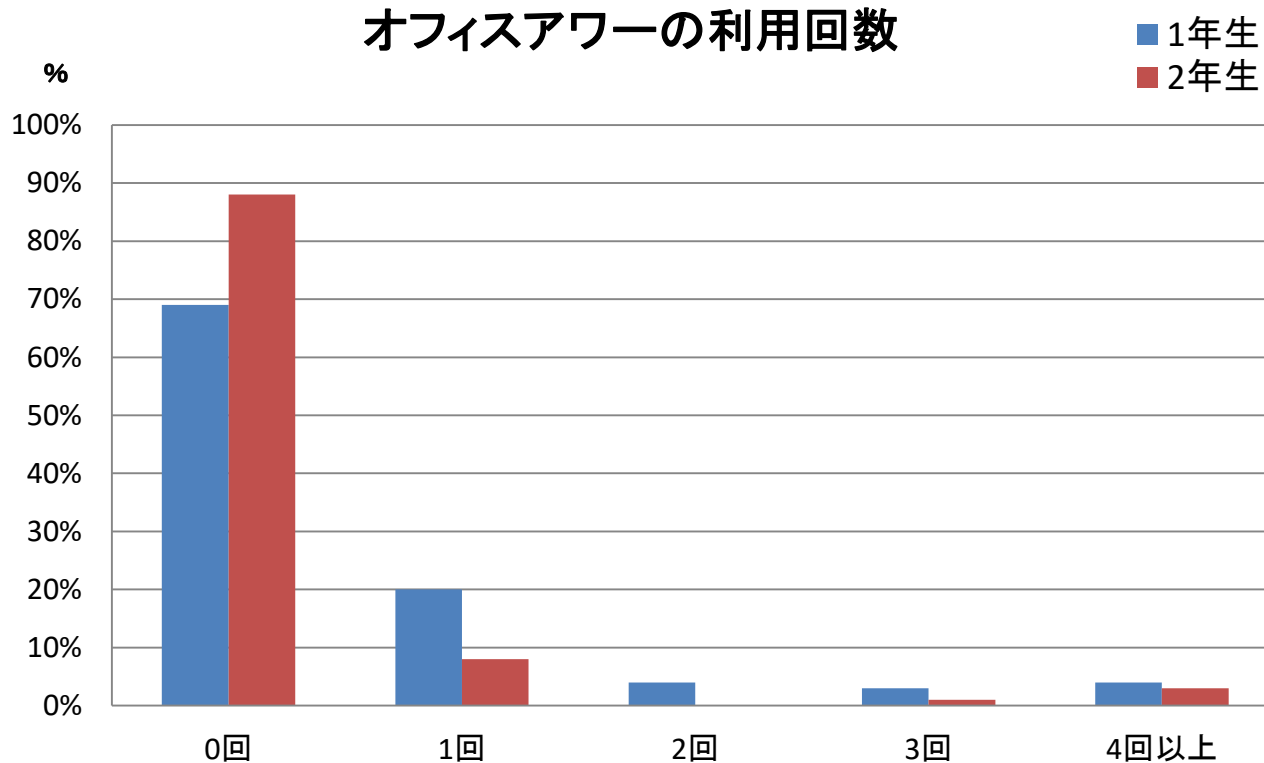
遊び時間の分布(バイト無)



○アルバイトをしている学生は、ゲームやTV鑑賞などの娯楽時間がしていない学生に比べ少なくなっている
娯楽時間を削って、アルバイトをやっていると想像される

調査報告

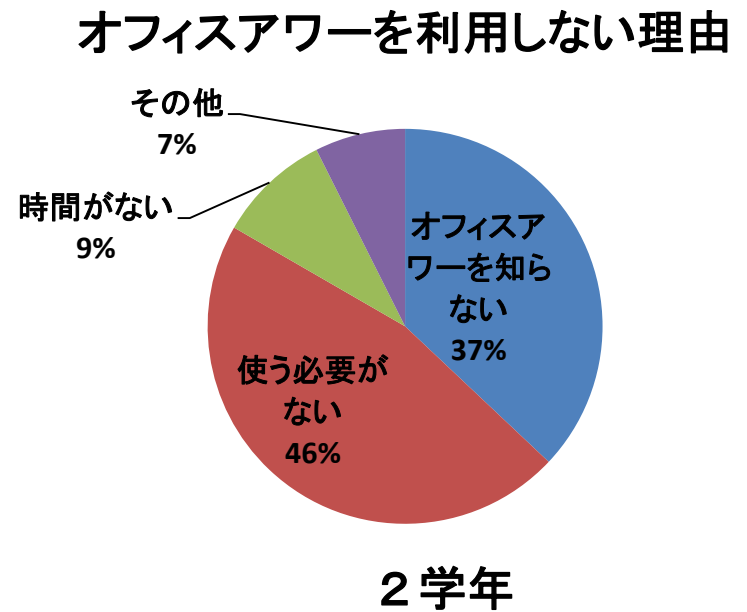
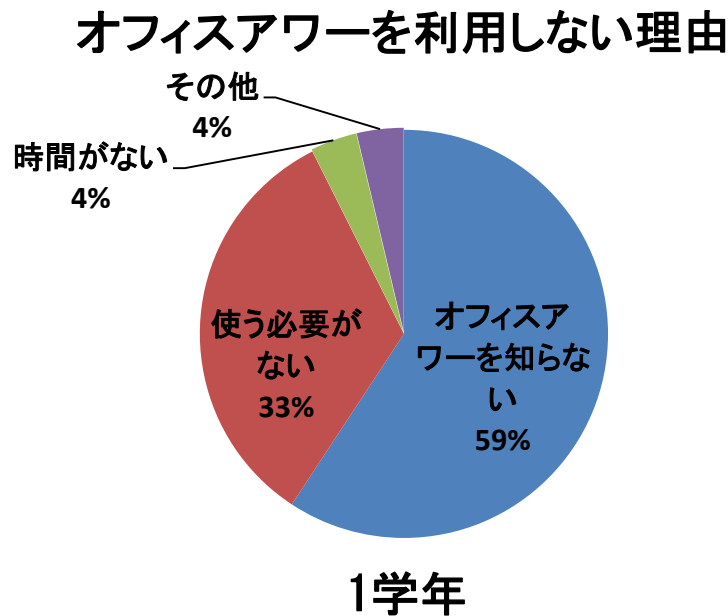
オフィスアワーの利用回数



オフィスアワーはほとんど利用されていない

調査報告

オフィスアワーを利用しない理由



1学年は1/2以上、2学年でも1/3以上の学生がオフィスアワーを知らない
オフィスアワーの周知が急務である

調査報告

学修時間、学修行動の把握に関するまとめ1

○学修時間について

- ・ 学生の90%は30分以上学修しているが、1時間以上の学生は約55%
2時間以上の学生は20%
- ・ 学修時間分布は1年生が正規分布であり、2年生は歪度+の分布
1年生方が若干、学修時間が取れている

○予習について

- ・ 何もしないと回答したのは、1年生45%、2年生20%
- ・ 2年生は、実際の学修時間は取れていないが、教科書を読まねばならないとの意識は生まれていると考えられる

○復習について

- ・ 大半の学生が、復習のレベルは実習レポートの作成と宿題と回答している
- ・ 今後、学修時間の増加を目指すためには、宿題が重要ポイントとなる
その場合には、開講科目全体での量の調整が必要であると考えられる

調査報告

学修時間、学修行動の把握に関するまとめ2

○学修時間とアルバイトの関係について

- ・アルバイト有の群と、アルバイト無の群の学修時間分布を比較すると
短時間学修（10分、30分）ではアルバイト無の群がよくやっている
長時間学修（1時間以上）ではアルバイト有の群が頑張っている
- ・アルバイトをしているから、学修時間が少ないという傾向はない

○アルバイトとその他の時間の関係について

- ・アルバイトをしている学生は、掃除、洗濯、買い物などの生活時間やゲーム、TV視聴、等の娯楽、遊び時間を削ってアルバイトを行っている
(決して学修時間を削っている訳ではない)

○オフィスアワーについて

- 1学年は1/2以上、2学年は1/3以上が知らない
- オフィスアワーの利用は学修意欲向上につながるため、周知が急務である

調查報告



調查報告

END